



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社大戸屋ホールディングス

コード番号 2705 URL <http://www.ootoya.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 三森 久実

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長 (氏名) 濱田 寛明 TEL 0422(26)2600

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	9,441	11.9	108	△66.2	83	△71.3	301	—
23年3月期第2四半期	8,439	0.0	322	173.7	289	170.7	20	23.0

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 328百万円(—%) 23年3月期第2四半期 5百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	51.92	—
23年3月期第2四半期	3.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	8,947	2,614	29.2
23年3月期	8,071	2,644	29.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,614百万円 23年3月期 2,383百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	20.00	30.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 24年3月期第2四半期配当金の内訳 特別配当 10円00銭

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,600	7.9	360	△42.9	300	△47.8	340	111.2	58.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成23年11月4日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 ― 社(社名) 、除外 1 社(社名) BETAGRO OOTOYA (THAILAND) CO., LTD.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	5,800,000株	23年3月期	5,800,000株
24年3月期2Q	74株	23年3月期	74株
24年3月期2Q	5,799,926株	23年3月期2Q	5,799,978株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(7) 重要な後発事象	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災の影響により厳しい状況が続くものの、サプライチェーンの立て直しが進み、経済活動が回復してきたことから、景気は徐々に持ち直しの動きが見られました。しかしながら、米国や欧州の不安定な金融情勢を背景とした海外経済の減速と急速な円高の進行等により、景気は足踏み状態が続いており、先行き不透明な状況の中で推移いたしました。

外食産業におきましては、雇用と所得の先行き不透明感が続く中、ユッケ食中毒事件や、福島第一原発事故による農産物の放射能汚染が消費者の不安を招いたことから、外食への消費マインドが停滞し、引続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、国内におきましては、直営店舗の積極的な新規出店と既存店舗の活性化に重点を置くとともに、グランドメニュー（通常メニュー）の改定を行い、野菜を中心とした新商品の導入と既存商品のクオリティの向上、白米から無料で変更可能な「雑穀ご飯」の全店導入等、顧客満足度の向上及び競合他社との差別化に努めて参りました。フランチャイズ事業につきましては、フランチャイズ加盟者の募集とフランチャイズ加盟店舗の新規出店を行うとともに、各種販売促進活動の実施に鋭意取り組んで参りました。海外におきましては、タイ王国、台湾及び香港における直営既存店舗の収益性向上に注力するとともに、インドネシア共和国とシンガポール共和国におけるフランチャイズ店舗に対する経営指導を行って参りました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は9,441百万円（前年同期比11.9%増）、営業利益108百万円（同66.2%減）、経常利益83百万円（同71.3%減）となり、タイの子会社株式売却益518百万円を特別利益に計上し、主に国内における既存店舗の改装に係る固定資産除却損26百万円、減損損失20百万円を特別損失に計上したため、四半期純利益は301百万円（同280百万円増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 国内直営事業

国内直営事業は、徹底的な品質の向上に注力し、仕入食材の適正な温度、鮮度管理の実施と、安全・安心でお値打ち感の高い商品開発に努める一方、手作りとしたきたてにこだわり、心を込めて作った商品を提供することで、競合他社との差別化を図って参りました。

店舗展開につきましては、「大戸屋ごはん処」直営店8店舗（アルカキット錦糸町店、大宮ステラタウン店、大塚南口店、六本木店、ココリア多摩センター店、りんくうシークル店、所沢プロペ通り店、調布南口店）、「おとや」業態3店舗（おとや西荻窪店、やさい料理おとや南青山店、おとや笛吹川フルーツ公園店）の新規出店とフランチャイズ加盟店2店舗（イオン与野店、調布北口店）の譲受けがありました。直営店1店舗（美濃加茂店）の譲渡と直営店3店舗（おとや厨房神楽坂店、志木東口店、高田馬場さかえ通り店）の閉店及び社員独立支援制度による直営店1店舗（南池袋店）ののれん分けがありました。

これにより、当第2四半期連結会計期間末における国内直営事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」130店舗、「おとや」4店舗の総計134店舗となりました。

以上の結果、国内直営事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は5,838百万円（同7.4%増）、営業損失29百万円（前年同期は276百万円の営業利益）となりました。

② 国内フランチャイズ事業

国内フランチャイズ事業は、「大戸屋ごはん処」7店舗（経堂コルティ店、ららぽーとTOKYO BAY店、マリノアシティ福岡店、鶴見西口店、札幌清田店、赤坂見附店、ポーラ名古屋ビル店）の新規出店と社員独立支援制度によるのれん分け1店舗及び直営店1店舗の譲受けがありましたが、フランチャイズ加盟店2店舗の譲渡があったため、当第2四半期連結会計期間末における国内フランチャイズ事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」116店舗となりました。

以上の結果、国内フランチャイズ事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は2,103百万円（同17.2%増）、営業利益273百万円（同14.4%増）となりました。

③ 海外直営事業

海外直営事業は、当第2四半期連結会計期間末現在、47店舗（連結子会社でありますBETAGRO OOTOYA (THAILAND) CO., LTD. が当第2四半期連結累計期間において5店舗の新規出店を行い、タイ王国に32店舗、台湾大戸屋股份有限公司が台湾に12店舗、香港大戸屋有限公司が香港に3店舗）稼働しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,443百万円（同19.6%増）、営業利益31百万円（同4.1%減）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間において設立いたしましたAMERICA OOTOYA INC. は、米国ニューヨークにおいて日本食の提供を主体とした飲食店の経営を行うべく、平成24年1月に予定しております1号店出店に向け準備中であります。

④ その他

その他は、海外におけるフランチャイズ事業であり、当第2四半期連結会計期間末現在、シンガポール共和国において3店舗、インドネシア共和国において2店舗を展開しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は56百万円（同52百万円増）、営業利益は53百万円（同52百万円増）となりました。

なお、持分法適用関連会社であるBETAGRO OOTOYA CO., LTD.（当第2四半期連結会計期間末現在、稼働中の店舗はありません）、OTOYA ASIA PACIFIC PTE. LTD.（当第2四半期連結会計期間末現在、シンガポール共和国において3店舗を展開）及びPT. OOTOYA INDONESIA（当第2四半期連結会計期間末現在、インドネシア共和国において2店舗を展開）につきましては、当第2四半期連結累計期間において持分法による投資損失11百万円を計上しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、現金及び預金2,434百万円を主なものとして3,517百万円（前連結会計年度末比47.0%増）、また、固定資産は、店舗等の有形固定資産3,248百万円と敷金及び保証金1,473百万円を主なものとして5,429百万円（同4.4%減）であり、資産合計では8,947百万円（同10.8%増）となりました。これは主に、現金及び預金が増加したためであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、借入金1,034百万円、買掛金658百万円及び未払金519百万円を主なものとして2,840百万円（前連結会計年度末比1.2%増）、固定負債は、長期借入金2,461百万円を主なものとして3,491百万円（同33.2%増）であり、負債合計では6,332百万円（同16.7%増）となりました。これは主に、借入金が増加したためであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は2,614百万円(前連結会計年度末比1.1%減)となり、自己資本比率は29.2%となりました。これは主に、タイの子会社株式譲渡により少数株主持分が減少したためであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動により148百万円を獲得し、投資活動により31百万円を獲得し、財務活動により774百万円を調達した結果、2,320百万円(前連結会計年度末比69.3%増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、得られた資金は148百万円(前年同期比59.1%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益542百万円を計上し、減価償却費396百万円等の非資金的費用がありましたが、子会社株式売却益518百万円を計上し、法人税等の支払による支出340百万円があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、得られた資金は31百万円(前年同期は398百万円の使用)となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入650百万円がありましたが、有形固定資産の取得による支出568千円があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、調達した資金は774百万円(前年同期は28百万円の使用)となりました。これは主に、借入による収入が1,500百万円ありましたが、借入金の返済による支出が538百万円と配当金の支払額126百万円があったためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成23年8月5日に公表しました平成24年3月期の連結業績予想を修正致しました。詳細は、平成23年11月4日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、当社の連結子会社であったBETAGRO OOTOYA (THAILAND) CO., LTD. (以下「BOT」)の全株式をCENTRAL RESTAURANTS GROUP CO., LTD. へ譲渡いたしました。これにより、平成23年9月30日現在、BOTは当社の連結子会社から除外しております。

この結果、平成23年9月30日現在では、当社グループは、連結子会社4社及び持分法適用会社3社により構成されることとなりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,484,452	2,434,786
売掛金	410,151	459,950
原材料及び貯蔵品	44,747	43,884
その他	456,990	583,318
貸倒引当金	△4,040	△4,253
流動資産合計	2,392,302	3,517,686
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,509,923	2,246,164
その他(純額)	1,018,156	1,002,179
有形固定資産合計	3,528,080	3,248,344
無形固定資産		
のれん	6,907	19,238
その他	48,938	53,017
無形固定資産合計	55,846	72,256
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,518,036	1,473,054
その他	578,203	636,343
貸倒引当金	△619	△469
投資その他の資産合計	2,095,620	2,108,927
固定資産合計	5,679,546	5,429,528
資産合計	8,071,849	8,947,215
負債の部		
流動負債		
買掛金	656,241	658,862
短期借入金	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	860,572	1,014,789
リース債務	77,955	99,370
未払金	718,215	519,441
未払法人税等	248,011	229,668
賞与引当金	42,837	51,158
店舗閉鎖損失引当金	300	5,369
資産除去債務	—	1,805
その他	181,824	240,403
流動負債合計	2,805,958	2,840,870
固定負債		
長期借入金	1,689,062	2,461,239
リース債務	190,581	253,270
退職給付引当金	183,815	183,088
資産除去債務	240,025	253,590
その他	317,874	340,429
固定負債合計	2,621,359	3,491,619
負債合計	5,427,318	6,332,489

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	724,012	724,012
資本剰余金	642,212	642,212
利益剰余金	1,119,207	1,304,342
自己株式	△60	△60
株主資本合計	2,485,371	2,670,507
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,013	1,019
為替換算調整勘定	△103,153	△56,800
その他の包括利益累計額合計	△102,140	△55,780
少数株主持分	261,300	—
純資産合計	2,644,531	2,614,726
負債純資産合計	8,071,849	8,947,215

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	8,439,457	9,441,264
売上原価	3,203,072	3,719,724
売上総利益	5,236,385	5,721,540
販売費及び一般管理費	4,913,781	5,612,612
営業利益	322,603	108,928
営業外収益		
受取利息	903	1,655
受取配当金	22	363
協賛金収入	8,443	8,814
株式割当益	2,968	—
受取補償金	—	2,474
その他	8,153	8,973
営業外収益合計	20,491	22,281
営業外費用		
支払利息	27,503	34,901
為替差損	5,978	1,449
持分法による投資損失	19,852	11,411
その他	0	422
営業外費用合計	53,333	48,185
経常利益	289,761	83,024
特別利益		
子会社株式売却益	—	518,888
店舗売却益	—	2,828
貸倒引当金戻入額	374	—
特別利益合計	374	521,717
特別損失		
固定資産除却損	17,925	26,432
減損損失	—	20,096
店舗閉鎖損失引当金繰入額	1,356	5,069
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	105,992	—
その他	11,781	11,057
特別損失合計	137,055	62,656
税金等調整前四半期純利益	153,080	542,085
法人税、住民税及び事業税	150,557	312,789
法人税等調整額	△18,741	△60,024
法人税等合計	131,816	252,765
少数株主損益調整前四半期純利益	21,263	289,319
少数株主利益又は少数株主損失(△)	734	△11,814
四半期純利益	20,529	301,134

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	21,263	289,319
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△488	5
為替換算調整勘定	△14,735	38,027
持分法適用会社に対する持分相当額	△992	826
その他の包括利益合計	△16,217	38,859
四半期包括利益	5,045	328,179
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,260	347,493
少数株主に係る四半期包括利益	△3,214	△19,314

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	153,080	542,085
減価償却費	335,078	396,793
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△374	62
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,654	15,496
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△6,626	5,069
退職給付引当金の増減額(△は減少)	11,060	△726
受取利息及び受取配当金	△925	△2,019
株式割当益	△2,968	—
支払利息	27,503	34,901
持分法による投資損益(△は益)	19,852	11,411
店舗売却損益(△は益)	—	△2,828
子会社株式売却益	—	△518,888
固定資産除却損	13,721	26,148
固定資産売却損益(△は益)	1,141	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	105,992	—
減損損失	—	20,096
売上債権の増減額(△は増加)	26,572	△47,013
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,623	△7,594
前払費用の増減額(△は増加)	△26,919	△53,778
未収入金の増減額(△は増加)	4,451	△6,244
仕入債務の増減額(△は減少)	△78,073	66,193
未払金の増減額(△は減少)	△82,016	10,683
未払費用の増減額(△は減少)	△2,943	27,844
未払消費税等の増減額(△は減少)	12,169	16,372
その他	47,165	△10,287
小計	561,971	523,778
利息及び配当金の受取額	331	852
利息の支払額	△26,489	△35,455
法人税等の支払額	△172,599	△340,641
営業活動によるキャッシュ・フロー	363,214	148,533

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付けによる支出	△51,400	△38,050
貸付金の回収による収入	4,152	6,038
投資有価証券の取得による支出	△2,846	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	650,347
有形固定資産の取得による支出	△304,506	△568,106
有形固定資産の売却による収入	4,783	86,123
無形固定資産の取得による支出	△9,625	△20,328
長期前払費用の取得による支出	△19,310	△32,839
敷金及び保証金の差入による支出	△45,743	△32,529
敷金及び保証金の回収による収入	31,830	10,971
その他	△5,997	△30,029
投資活動によるキャッシュ・フロー	△398,663	31,597
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	700,000	—
短期借入金の返済による支出	△2,024,000	—
長期借入れによる収入	1,800,000	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△364,552	△538,004
リース債務の返済による支出	△25,405	△61,517
自己株式の取得による支出	△60	—
配当金の支払額	△114,438	△114,718
少数株主への配当金の支払額	—	△11,685
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,456	774,073
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,267	△3,871
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△69,173	950,333
現金及び現金同等物の期首残高	1,611,711	1,370,452
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,542,538	2,320,786

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	国内 直営事業	国内フラン チャイズ事業	海外 直営事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	5,433,753	1,795,177	1,207,162	8,436,093	3,364	8,439,457
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,433,753	1,795,177	1,207,162	8,436,093	3,364	8,439,457
セグメント利益	276,780	239,076	33,371	549,227	1,185	550,412

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外フランチャイズ事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	549,227
「その他」の区分の利益	1,185
全社費用(注)	△227,809
四半期連結損益計算書の営業利益	322,603

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	国内 直営事業	国内フラン チャイズ事業	海外 直営事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	5,838,505	2,103,493	1,443,213	9,385,212	56,052	9,441,264
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,838,505	2,103,493	1,443,213	9,385,212	56,052	9,441,264
セグメント利益又は損失(△)	△29,820	273,412	31,991	275,583	53,643	329,227

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外フランチャイズ事業であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、連結子会社であったBETAGRO OOTOYA (THAILAND) CO., LTD. の全株式を売却し、連結の範囲から除外しております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの「海外直営事業」における資産の金額は著しく減少しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	275,583
「その他」の区分の利益	53,643
全社費用(注)	△220,298
四半期連結損益計算書の営業利益	108,928

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内直営事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては20,096千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「国内直営事業」セグメントにおいて、フランチャイズ加盟店の店舗を譲受けました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、16,784千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。